



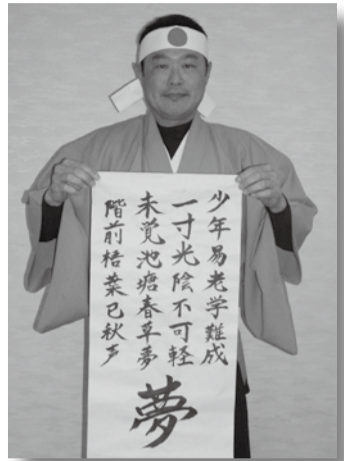
発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：武海 章 編集責任者：担当副会長 水 康德 制作・編集：メディアコミュニケーション委員会：委員長 河津慎二 印刷：東京印刷株式会社

## 謹賀新年

少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んず可からず

### 新年のご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 武海 章



新年おめでとうでございます。

ここに希望の新年を迎えるにあたり、皆様のご清福とご繁栄を心よりお祝い申し上げます。また、皆様には平素より当会の事業に格別なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

表題の言葉は、小学校時代の恩師が卒業に際し、私に贈ってくださった言葉であります。本年度の活動も折り返しを迎え、自分自身の戒めとしてこの言葉の意味をあらためて噛み締めているところでござい

## 「笑う」忘年例会開催！



### 笑って半期を折り返し

平成17年12月15日(木)雪が舞い降りる寒々とした夜空の下、「ホテルサンルート米子」において、総務・ビジョン検討両委員会担当による鳥取県西部中小企業青年中央会 平成17年度「12月『笑う』忘年例会」が開催された。いつもより10分早く席に着いた現役会員80名は、足元の悪い中をお越し下さったOB会員34名・来賓5名をお迎えした。

武海会長は挨拶で「12月といえば、中央会としては折り返しの時期と言え、振り返れば、実に充実した、余計な事を考える暇も無い半年だったが、幸せな時間だったと思える。今年の忘年例会は、担当委員会のメンバーが『不景気を吹き飛ばせ』をコンセプトに、知恵を絞って企画した。今日は半年間を思い出しながら、笑い、飲み、食べ、語り合いたいと思う。」と仰られた。

続いて、野坂康夫(米子)・中村勝治(境港)の両市長、並びに中村昌哲(OB)会長より御挨拶頂き、商工中金米子支店長寺島綱一氏の御発声で乾杯を行い、共に半年間の活動を振り返りつつ日頃の労を労いあった。



忘年例会を盛り上げるべく、総務・ビジョン検討の両担当委員会は、現役、OB、果ては来賓までをも巻き込み「知力・体力・時の運」クイズ大会を開催した。謎の覆面男・中央会の若武者「ダイナマイト(善本)中国」を司会進行役に、「1Qサプリ(頭の体操)」「私は誰でしょう?」「暗算」「パルンクラッシュ(風船早割)」「中央会アイアンマン(現役vsOB 野球大会クイズ)」「この字何の字?」(タイツ男達による人文字クイズ)といった数々の難問が、各委員会の席より選ばれた回答者達に情け容赦無く襲い掛かるという、身の毛もよだつ恐ろしいアトラクションであった。

## 中海再生に燃える熱い討論！

中海再生プロジェクト討論会レポート



をもちつて挑めば、必ず実現するから「夢」を、大勇達が全身で表現する人文字は非常に完成度が高く、感動する危険性を孕んでいたが、回答者達は辛くもそれをかわし、勝利の栄冠を勝ち得ることに成功した。



平成17年12月13日(火)「米子コンベンションセンター情報プラザ」において、中海再生プロジェクト総会があり、2005年の1年の活動を振り返り、2006年の目標についての討論会に参加した。青年中央会のみらいづくり委員会では、「2006年はEM菌を使って学校のプール掃除をすることに子供たちや教育の場、更に地域の住民にEM菌を知ってもらおう事を目標にしている」というような事を語った。

## あなたも裁判員!?

### 裁判員制度全国フォーラム in 鳥取

国民の司法参加を実現する裁判員制度が、平成21年5月までにスタートします。去る12月4日に鳥取市で県民への啓発のためのフォーラムがありました。

この制度は、国民の中から選ばれた裁判員が6人、裁判官3人の基本的には計9人で裁判を行い、有罪無罪の判断はもとより、有罪の場合は量刑も決めます。

裁判員の権限は、基本的には裁判官と同等であり、提出された証拠書類を調べたり、証人や被告人にも質問ができます。

判決は、裁判官、裁判員それぞれ1名以上の賛成を含む多数決で決めます。扱う案件は、殺人、強盗致死傷、放火など凶悪な刑事事件です。裁判員は有権者つまり20歳以上の一般市民はすべてが対象で、くじで裁判員候補を選び、事件に関する不適格事由などか、一定のやむを得ない理由がない限り、裁判員として刑事裁判に臨まなければなりません。裁判の審理日数は事件によって異なりますが、最低でも数日間がかかります。

国民が司法の場である刑事裁判に参加する事は、大変重要だと考えますが、国民の不安や課題は、まだまだ多くあるようであり、是非、皆さんも裁判員制度に関心を持ってください。

(記事・司法問題研究委員会 湯原会員)

今期のスローガン「創生」

夢を持って挑めば、必ず実現する

# あなたの夢はなんですか

山中隆司 会員



20年くらい前に、研修会の一コマで自分の夢をランダムに箇条書きしたことを思い出します。

高級な外車に乗り、大きな家を建て、きれいなお嫁さんをもらい、海外に教育施設の拠点を構え、等々、近未来的な欲や物欲的な考えがストリートにでる、夢とはいえない夢を書いていたのを思い出します。いま、20年を経て自分の夢を語る機会を頂いて、改めて、人生で一番の幸せを感じることが夢の実現であるかと思いました。

## 記者が選ぶ！突撃！

# 気になるOB会員を訪ねて…

野嶋 功OB



〈近況報告〉

北条レンタカー米子営業所／醍醐交通の所長を務められておられ、仕事以外ではやまつきスポーツクラブの理事をしておられます。現在は仕事以外の所でも地域との関わりが多く、「このような地域との関わりがもてるのも、中央会からの結びつきのおかげだね。現役の頃と比べて夜の会合は減ったが、個人的には今のほうが忙しい」と語られた。

〈今後の中央会はどうあるべきか〉

野嶋OBが中央会に入られたの当時は、県内最年少の25歳の頃でした。卒会されて1年、この21年の中で中央会自体の変化をお尋ねすると、「自分が入会した当時は周りの人は怖い方ばかりだったね。会自体の活動は入会当時とそれ程変わらないが、今は自分の意見を言う人が少なくなってきたと思

私は教育の世界に身を置いており、知的な事を教授する事に重きを置く教育から、心の教育がいかに重要であるかを説かれて久しくなります。しかし、身近に起こるビッグニュースと云えば、幼い子どもの命を奪う残忍な事件ばかりです。人間として、人の心を踏みしめ、命を奪うことがなぜできるのだろうか。不思議でたまりません。

人間は生まれ持った性質があるでしょうが、乳幼児期から成人に至るまで良質の教育をいかに受けるかによって、その人格形成に大きな影響を与えるかと思えます。幼児教育に携わる自分にとって、教育的環境を上質にすることがよりよい教育を推進することであり、環境の中で特に、教育に携わる教諭、保育士の人格がいかに大切であるかは周知のことと思われまます。人間の基礎である人格を高めることが、自分の携わる教育の質をより一層高めることにつながり、そこで教授された教育によって、世の中になくなくてはならない人として活躍する人材を輩出することが、当たり前前のことではあります。自分の役割です。水は、我々の生活の中でどこにでも存在するありふれたものではありませんが、水はその形を変えながら人間の生活になくならないものとして存在しております。水は、我々の生活は成り立ちません。これからは、水の如くに生きられる自分づくりをすることが私の夢です。

〈山中会員を選んだ理由〉

昨年、青少年を巻き込んだ陰鬱な事件が多発しています。彼らを最もよく知り、教育する立場の最前線の人物と問われ、山中会員が一番に浮びました。その期待に応えてくれたかのように、規定の字数を超える原稿を頂きました。

（記事・長谷川）

水の加工機械を自ら設計、製作しているとのこと。

〈中央会活動で印象に残ったこと〉

南OBは14年間で中央会で活動を振り返り、もともと印象に残っているのが、地域交流委員会の時に、景委員長のもと「ジュニアトライアスロン」を立ち上げたことだと話してくれた。当時、南OBは副委員長。景委員長のリーダーシップのもと委員会一丸となって目標に向かって努力する姿勢と、異業種団体であるというメリットを強く感じたと言われた。

〈野嶋OB会員を訪ねた理由〉

私も25歳で入会しましたが、同じ立場で20年間中央会を見てこられた野嶋OB会員にお話を伺いたいと思いました。お話を聞き、20年後の中央会がどう変わっていくのか、またそこに関わっていただけることを楽しみに感じました。

（記事・高井）

南 順三OB



〈近況報告〉

市場やお店に「氷」を配送しておられる市場製水の社長 南順三OBをお尋ねしました。今年の6月に中央会を卒会され、時間的に余裕ができた現在は、仕事の傍ら、

〈南OB会員を訪ねた理由〉

14年間という長い在籍期間、そして卒会されて間もないことから、中央会の昔と今を語っていただけるのではないかとお話を伺いました。

南OB会員には、お忙しい中、快く取材に応じていただきましてありがとうございます。

（記事・本池）

## 県青中の動き

今月は鳥取県中小企業青年中央会（県青中）の委員会活動について9月号のハンサムでも若干触れましたが、もう少しお話ししたいと思います。皆さんの中には、「えっ、県青中にも委員会ってあるの?」「委員会はどういう活動をしているの?」と思っかもしれませんが、西部青年中央会と同じく委員会が存在します。

今年度は情報委員会、研修委員会、親睦・広報委員会の3委員会が編成されています。いずれの委員会も副会長（各地区の会長）、委員長（中部の県出向理事）、委員（東部と西部の県出向理事）で構成されており、情報委員会は委員長交流会、研修委員会は中小企業団体全国大会や海外研修、親睦・広報委員会はレクリエーション等の親睦事業が主な事業内容となっております。いずれの委員会も事業の企画や段取りを行い、県役員会で承認を受け運営されるようになっております。

11月に周年事業も終え、大きな事業は一段落しましたが、実は大半がまだ残っています。一度も参加されたことの無い会員の方ぜひ一度、一度とはいわず二度三度、どんどん積極的に参加してみてください。普段なかなかお会い出来ない東部や中部の会員と交流することで色々な発見が生まれてくるかも知れません。

これからも県出向役員一同、魅力ある県青中事業づくりを目指して頑張っていきますので応援、そして参加の程、よろしくお祈り致します。

（記事・渡辺県出向）

## 3面記事 おもしろネタ!

皆さんは最近テレビに頻りに出没する、黒のレーザーの上下に帽子、サングラスを身に付けた男をご存知だろうか? そう! 言わずと知れた「レーザーラモンHG」である。この男、ハード・ゲイにもかわらず、朝日町界隈にも出没するらしい、という情報をキャッチした! 我々西部青年中央会取材班は、目撃情報を収集するため突撃取材を敢行した! (プライバシーのため、実名、音声は変えてあります。)

（記事・牧田）

## 31期卒会記念!

思い出の写真を見せてください



田中英治 会員  
坊ちゃんて有名な道後温泉で、さすな委員会の卒会旅行の1コマです。裸の付き合い、偉大なOBを前にして、顔は笑っているが帯を付け忘れるほどの緊張でした。卒会を前にして、やっと中央会の一員になれた気がします。

平新武志 会員



数年前の若かりし頃の頃、微笑の国で象さんへ乗り、私の人生観が変わりました。「何事もマイベンライ!」心にゆとりを持ち、いつも微笑んでいたと思った日でした。もうすぐ中央会での賞味期限が切れる私ですが、「ああ良かった」と笑って卒会したいと思う今日この頃です。

## 赤ちゃん誕生!

おめでとうございます

茅野 優誉ちゃん  
平成17年12月16日生まれ



茅野康洋会員の(第二子)

砂原 寧々ちゃん  
平成17年12月22日生まれ



砂原弘明会員の(第一子)

## 12月度委員会報告

<b>メディアコミュニケーション委員会</b> 平成17年12月6日(火) 於: 海潮園 議題/ハンサム、HP、中央会番組について 出席者/17名	<b>司法問題研究委員会</b> 平成17年12月7日(水) 於: 海潮園 議題/3月担当例会について 出席者/14名
<b>みらいづくり委員会</b> 平成17年12月7日(水) 於: 岩崎館 議題/1月担当例会について 出席者/12名	<b>総務委員会</b> 平成17年12月5日(月) 於: 米子食品会館 議題/オブザーバー役員会出席、12月忘年例会について 出席者/16名
<b>政治行政委員会</b> 平成17年12月8日(木) 於: かば 議題/2月担当例会について 出席者/13名	<b>ビジョン検討委員会</b> 平成17年12月5日(月) 於: 米子食品会館 議題/皆生トライアスロンに対する当会協力体制の在り方についての提言まとめ、12月忘年例会について 出席者/8名
<b>ビジネス交流委員会</b> 平成17年12月9日(金) 於: 海潮園 議題/企業訪問について 出席者/10名	

※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。  
※詳細については各委員長までご参照ください。

## 1月役員会報告

1月定例役員会が平成18年1月6日(金)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。  
・1月例会の件  
・2月例会の件  
※なお、詳細については委員長までご参照ください。

## 1月例会案内

と き: 平成18年1月16日(月) 18:30~食事 19:00~開会  
ところ: ホテルサンルート米子  
講 師: 中海漁業協同組合 理事 石倉正夫氏  
中海再生プロジェクト 副理事長 田守利彦氏  
中海連絡協議会 観光委員長 中ノ森寿昭氏  
演 題: 「中海のみらいづくり」パネルディスカッション  
担 当: みらいづくり委員会